

高円宮妃久子殿下 根付コレクションと写真展

「旅する根付」—『茶の本』120年目の夏に



高山ケンタロー「Gecko on a Mushroom」 ご撮影:高円宮妃殿下

2026年8月4日[火]—15日[土]

会場:展示室B・C

開館時間:午前9時30分—午後5時[入場は午後4時30分まで]※最終日は午後2時まで

休館日:月曜日

入場料:一般1,000[800]円、満70歳以上500[400]円、高校生700[560]円、小中学生300[210]円

●[]内は20名以上の団体料金

●身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定医療費受給者証等をご持参の方および付き添いの方は1名無料

主催:高円宮妃久子殿下根付展実行委員会



茨城県天心記念五浦美術館

TENSHIN MEMORIAL MUSEUM OF ART, IBARAKI

〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿2083

Tel. 0293-46-5311 Fax. 0293-46-5711

北澤泉水「トルコのTea-Party(左)、インドのTea-Party(右)」 ご撮影:高円宮妃殿下

高円宮妃久子殿下 根付コレクションと写真展

「旅する根付」—『茶の本』120年目の夏に

根付は、印籠や煙草入れなどの小物を腰から下げるための留め具です。着物の帯に自由に脱着できるように工夫され、江戸時代の日本で独自の発達をしました。しかし明治維新後、洋装が普及すると実用品としての需要は激減します。一方海外では、美術品としての価値が高く評価され、多くの根付が博物館や個人によってコレクションされました。

高円宮妃久子殿下は、1970年代に英国で学生生活を送る中でそのようなコレクションに接し、根付の蒐集を始められました。そして1984年、高円宮憲仁親王殿下とのご結婚に際し、久子殿下が受け取られた最初のプレゼントは根付でした。憲仁親王殿下が根付の美に共感されたためです。根付は高円宮家のご家族の絆を結ぶ大切な存在となります。2002年憲仁親王殿下が薨去されるまで蒐集された根付500点は、現在東京国立博物館高円宮コレクション室で展示され、世界でも有数の根付コレクションとして人気を博しています。

本展では、高円宮妃久子殿下の手元に残された根付と現在も続けられているコレクションから、選び抜いた根付約200点と憲仁親王殿下の遺愛のカメラで写真家としてスタートされた久子殿下による写真約40点を展示いたします。御公務や私的な旅の合間に、根付を風景の中に配して撮影された写真は、作品への深い理解と愛情があふれ、根付の魅力を倍加させてくれます。

そこからは、岡倉天心『茶の本』のキーワードである「同情 (sympathy)」を深く感じることができます。出版されてちょうど120年目となる『茶の本』で、天心は「美術鑑賞に必要なのは、魂と魂が交換し合う場ですが、それは、お互いに譲り認め合うことから始めなければなりません」と述べています。この言葉は、今日の世界の状況下でこそ生きてくるのではないのでしょうか。本展が、根付とその写真の魅力的な世界を通して、『茶の本』の理念を再確認する機会となれば幸いです。

会期中のイベント

特別講演会「根付—手のひらの小宇宙」

講師：高円宮妃久子殿下

日時：8月11日〔火・祝〕午前10時30分～

会場：ホテル・テラス・ザ・ガーデン水戸 シーブリーズ〔水戸駅徒歩3分〕

定員：300名〔要事前申込・先着順〕／入場無料※展覧会チケットの提示が必要です



上の二次元コードから
お申し込み下さい。
〔7月20日午前10時～〕



5



6



7



8

1. 森 謙次(天上蛙) / 2. 前田 中(暮秋) / 3. 岩田知幸(猫の芸妓) / 4. 永島信也(小豆洗い)
5. 桑原 仁(あじさい) / 6. 田中圓照(福祿寿) / 7. 北澤泉水(芝居のかえり) / 8. 中村李治郎(ガクアジサイ)
1-8 ご撮影：高円宮妃殿下



1



2



3



4



●交通のご案内

電車：JR常磐線にて大津港駅下車、タクシーにて約5分
乗用車：常磐自動車道、北茨城IC及び勿来ICから約15分



茨城県天心記念五浦美術館
TENSIN MEMORIAL MUSEUM OF ART, IBARAKI

〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿2083

Tel. 0293-46-5311 Fax. 0293-46-5711